

奥 羽 大 学 報



上空からみた薬学部棟と薬草園

目 次

無垢サロン	2
オープンキャンパス	3
慶熙大学歯学部との国際交流／献体者合同慰霊式／実験動物供養／	
第23回奥羽祭のお知らせ(学友会)	4
第24回奥羽大学公開講座／奥羽大now	5
中学生の上級学校訪問、職場体験学習／歯学部新科目「郡山学／福島学」／	
歯学部父兄会地域会／第47回全日本歯科学生総合体育大会	6
薬学部第1回教育研修・講演会／薬物乱用防止キャンペーン／	
薬学部の学外研修／薬学部6年生特別実習発表会	7
欧州静脈経腸栄養学会議／薬学部短期集中英会話コース／	
薬学部就職先一覧(平成27年3月卒)	8
研究倫理・研究不正防止に関する大学院特別研修セミナー／	
海外教員による大学院特別研修セミナー／大学院研究経過発表会	9
平成27年度若手研究奨励賞受賞者／	
薬学部の熊本隆之助教、日本毒性学会で優秀研究発表賞受賞／	
花岡洋一教授に警視庁より感謝状	10
警察歯科医会全国大会／交通安全講習会／事務局SD研修会／自著を語る	11
歯学部研究紹介	12
薬学部研究紹介／歯学部5年生 東健一郎君がSCRIPで入賞	13
附属病院	14
スポット学友会	15
同窓会だより／同窓生のひろば	16
図書館で展示「近代歯科学の黎明」	17
学校法人晴川学舎 平成26年度決算報告	18
退職によせて／人事	19
平成28年度入学試験日程	20



歯科医学研究の推進と若手教員の育成

大学院歯学研究科長 清浦有祐

日本学術会議の歯学委員会から「我が国における歯科医学の現状と国際比較2013」という報告書が出版されています。この中で日本の歯科医学研究の現状と今後に進むべき方向性が示されています。

まず、日本の歯科医学研究のレベルが、国際的にとても高いことが示されています。その理由の一つとして、基礎歯学研究者の中に占める歯科医師の割合が高いことを挙げています。米国のように基礎歯学研究者の大多数が非歯学部出身者であることと比較すると、その違いは歴然です。このことは、歯科医学の基盤を持った研究者が、基礎歯学の研究課題にじっくりと若い時から腰を据えて取り組んでいることを意味しています。

本学においては、どうでしょうか。基礎系講座の教員の多くは歯科医師で、この傾向は強まっていくと思います。さらに、歯学部学生や臨床研修歯科医の中に研究活動に興味があり、将来はぜひ行ってみたいと考えている者がいます。特に研修歯科医で研究活動に興味を示す者の割合が増加していることが、ここ数年の特徴です。若手教員の科研費申請に際しては、ブラッシュアップを受けることを義務付けていますが、2年前と比較して、今年度は約3倍の申請書が提出されました。

若手研究者の養成に関しては、重要なことが3つあります。まず、若手育成に最も大切なことは優れたメンターの存在です。研究テーマを選ぶ、研究中に遭遇する問題を如何にクリアするかといった時にもメンターの有無が極めて重要なポイントになります。優れたメンターの条件ですが、まずは多くの研究業績と外部研究資金の獲得です。研究業績を積み、あるいは外部研究資金を獲得する中でさまざまな研究上のトラブルに遭遇します。それを乗り越える中で得られた経験は、若手研究者を指導するための貴重な財産です。

次に大切なことは、日付を入れることです。日付を入れずに研究を行っている、数年経っても成果を論文としてまとめることができません。研究テーマを選択して計画を立案する際には、必ず論文完成の日付を入れ、ゴールを目指して研究を進めて行く必要があります。これができない人は、科研費を獲得することもできません。

最後に、研究テーマは現在の自分の環境で行える最善のものを選ぶことです。国内外の研究者との共同研究の促進が叫ばれています。しかし、その前提は自分自身がきっちりとした研究を行える場を確保し、研究成果を出していることです。

以上の中で、最も大切なメンターのソースとなるのが大学院です。大学院教員は自身の研究業績を積み重ねていくのは当然ですが、大学院生や若手教員への研究指導、特に国際誌掲載論文の指導をきちんと行えることが求められています。高い研究能力を持つ若手教員の育成は、良質な学部教育の基盤を形成するものと信じています。

薬草園の花



オミナエシ

オープンキャンパス

7月18日(土)、25日(土)および8月6日(木)、本学オープンキャンパスにおいて、歯学部・薬学部のオープンキャンパスが開催された。

全体オリエンテーションの後、歯学部と薬学部に分かれて学部の紹介、入試説明、ミニ講義、キャンパス見学、実習体験、さらに学食体験と個別進学相談が行われた。本学に進学を希望する参加者からは入学試験や学生生活に関する具体的な質問が投げかけられた。



薬学部ミニ講義



歯学部実習体験



薬学部実習体験

ミニ講義・実習体験内容

開催日	学部	内容
7月18日(土)	歯学部	ミニ講義「口臭について」「口腔乾燥について」
		実習体験「口臭測定」「口腔乾燥測定」
	薬学部	ミニ講義「上下水道と私たちの生活」
		実習体験「薬の正しい飲み方・使い方」
7月25日(土)	歯学部	ミニ講義「優れた技術による日帰り全身麻酔下の歯科治療」
		実習体験「BLS／AED体験」
	薬学部	ミニ講義「薬のしくみ」
		実習体験「調剤を疑似体験してみよう」
8月6日(木)	歯学部	ミニ講義「安全・安心な口腔インプラント治療の実際」
		実習体験「インプラント埋め込み手術のコンピュータシミュレーションと顎模型への埋め込み体験実習」
	薬学部	ミニ講義「アルツハイマー型認知症の病態と治療薬」
		実習体験「薬化学実習～解熱鎮痛薬の成分を合成しよう～」

慶熙大学歯学部との国際交流

8月6日(木)から8日(土)まで、本学の姉妹校である韓国の慶熙大学歯学部との国際交流が行われた。今回は、慶熙大学歯学部の学生1名と教員4名が本学を訪れた。初日は猪苗代湖や野口英世記念館などの観光と夜は歓迎会が行われた。2日目は本学の臨床見学を行い、夕方の大学院特別セミナーでは慶熙大学歯学部の2名の先生から講演を頂いた。Deok-Won Lee教授により“Dental Surgical Technique for Obstructive Sleep Apnea”と題したテーマで講演がなされ、睡眠時無呼吸を少ない手術侵襲で改善するために考案されたWon法が紹介された。また慶熙大学歯学部長であるYoung-Guk Park教授により“Education of Professionalism in KHU Dental School”と題したテーマで講演がなされ、プロ精神を有する歯科医師を育てるために、人間性に踏み込んだ教育が必要であることが語られたが、これは本学の建学の精神でもある「豊かな人間性」に通じるものであると感じた。

40年以上続いている慶熙大学歯学部との交流を、今後は今回のような学術的な交流を中心に発展させていきたいと両大学では考えている(歯学部国際交流担当 山崎信也)。



献体者合同慰霊式

平成27年度奥羽大学献体者合同慰霊式は6月3日(水)午後1時より、郡山市内にある霊鷲山常居寺の慰霊碑前において執り行われた。

式では平成26年度成願者のご尊名が拝誦され、霊札納塔の儀が執り行われ、赤川学長、学生代表により追悼感謝の言葉が述べられ、続いて参列された方々、本学学生による献花が行われた。ご献体をされた方々ならびにご遺族に感謝し、参列者全員でご冥福を心からお祈りした。



実験動物供養

実験動物供養が6月3日(水)、郡山市片平町の霊鷲山常居寺にて合同慰霊式に引き続き行われた。本学動物実験研究施設利用者と歯学部2年生が参列した。実験動物供養塔前において読経のなか焼香がなされ、そののち参列者全員で合掌、礼拝をした。実験動物供養は毎年6月に合同慰霊式とともに行われ、それまでの1年間に各自が扱った動物に改めて感謝の意を捧げている。

第23回奥羽祭のお知らせ(学友会)

テーマ:TSUBASA ～世界へ羽ばたく奥羽大～
日 時:10月17日(土)、18日(日)

今回の学園祭の見どころは、17日(土)に行われるJOYのトークショーです。また、毎年恒例のビンゴ大会、難問・奇問が待ち受けるクイズ大会等々、学生をはじめ、老若男女を問わず誰もが本気で挑戦できる企画と自負しております。皆様のご来校を実行委員一同お待ちしております。

第24回奥羽大学公開講座

今年度の公開講座は、総合テーマ「奥羽大学発健康宣言 2015」のもと、以下の日程・内容で開催します。時間は、各日とも、間に休憩を挟んで午前9時30分～11時45分、会場は本学第3講義棟311教室です。

本講座は参加無料、予約不要でどなたでも参加できます。

開催日	学部	講師名	タイトル
9月12日(土)	薬学部	渡邊 哲也 講師	飲むのではなく皮膚に貼る薬とは?
		多根井重晴 准教授	かかりつけ薬剤師とは?選ぶツボは?
9月19日(土)	薬学部	佐藤 栄作 教授	薬はなぜ効くの?
		石山 玄明 准教授	海の中からクスリを探す
10月 3日(土)	歯学部	鈴木 恵子 教授	丈夫な骨づくりー将来、寝たきりにならないために大切なことー
		山田 嘉重 准教授	痛くないむし歯の治療は可能?
10月10日(土)	歯学部	玉井利代子 准教授	歯周病は全身の感染症?
		今井 元 准教授	顎や歯は、どこからきたのか?

奥羽大now

キャンパス空中散歩

7月と9月のある日、愛用機にカメラを積んで、奥羽大学キャンパス上空を散歩しました。いやはや、すばらしい眺めですね。緑が一面にキャンパスを包んでいます。(表紙写真)薬用植物園はこんな形をしているんですね。バラが咲いていますよ。これからは秋の花が彩るでしょう。「躍進の像」の背後に県の復興住宅である富田団地が少し見えます。(右上写真)滝と池、スロープに「石」達が配置されています。彫刻「ふれあいの像」の



位置が分かりますか。(下の写真)基礎医学研究棟、附属病院前の道路はとみに車の通行が多くなりました。よく見てください。はい、制限時間です。またねー(撮影は歯学部附属病院歯科技工士の石河達雄さんでした)。



中学生の上級学校訪問、職場体験学習

中学校からの依頼により、中学生の「上級学校訪問」および「職場体験学習」を受け入れた。生徒らは歯学部、薬学部の授業の見学や、職場での業務体験をした。附属病院棟では病室内の環境整備や血圧測定、図書館では図書の貸出、文献検索などを行った。また、事務職員と仕事をテーマに談話をしたりして、働くことの理解を深め、将来の職業選択について夢を膨らませていた。中学生の受入れ実績は次の通りです。

開催日	学校名	内容	人数
6月19日(金)	郡山市立喜久田中学校	職場体験学習	2名
7月10日(金)	郡山市立安積第二中学校	上級学校訪問	5名
7月14日(火)	郡山市立郡山第五中学校	職業体験学習	5名
9月9日(水)	富岡町立富岡第一・第二中学校	上級学校訪問	7名
9月10日(木)	郡山市立三穂田中学校	職場体験学習	3名
9月11日(金)	郡山ザベリオ学園中学校	職業体験学習	4名



歯学部新科目「郡山学/福島学」

本年度後期から歯学部1年生を対象とした新科目「郡山学/福島学」がスタートした。私たちの地元である郡山や福島県の歴史、文化、行政、人物などについて、より深く理解し、地域づくり・まちづくりに主体的に関わっていかうというもの。授業内容は「郡山地名考」「安積開拓と安積疏水」「郡山の歴史・文化・くらし」「戊辰戦争とその時代」「日新館とその教育」「震災と復興、原発、風評」「安積良斎」「朝河貫一」「野口英世」など多岐にわたる。

講義には安藤勝氏（図書館長）、伊藤和氏（『街こおりやま』編集長）、安藤智重氏（安積国造神社宮司）、梅田秀男氏（元高校校長）、宗像精氏（日新館館長）、八子弥寿男氏（野口英世記念館館長）らが当たる。

歯学部父兄会地域会

6月21日(日)の東京を皮切りに6月28日(日)福岡、7月5日(日)大阪と歯学部父兄会地域会が開催された。

各会場では、各学年の要点、共用試験や国家試験を意識した授業体系等の改革についての説明が行われた。東京会場では、卒業生の体験談も聞くことができ、有意義な懇談であった。また教員と保護者との個別面談も行われた。



第47回全日本歯科学学生総合体育大会

毎年冬期と夏期に行われる全日本歯科学学生総合体育大会（オールデンタル）の第47回大会は奥羽大学が総合主管として、大会運営を行った。

本学は、冬期にラグビーフットボール部門を、夏期に硬式野球部門・サッカー部門・硬式庭球部門・バスケットボール部門を部門主管した。

26競技全てにおいて大きな事故もなく、8月12日(水)の閉会式をもって無事に大会を終了することができた。

学生が中心となって大会運営したため、携わった学生達は素晴らしい経験を得たことだろう。

総合成績は次の通り。

- 優勝 日本大学松戸歯学部
- 準優勝 日本大学歯学部
- 3位 大阪歯科大学
- 4位 愛知学院大学歯学部
- 5位 東京歯科大学
- 6位 日本歯科大学生命歯学部

薬学部第1回教育研修・講演会

6月24日(水)、薬学部第1回教育研修・講演会が開催され、東北大学病院副院長・がんセンター長・化学療法センター長の石岡千加史教授による「最新のがん薬物療法の進歩と課題」と題した講演が行われた。分子標的治療薬が、がん治療を大きく変えた事、さらに、がんの種類に影響しない新たな免疫治療薬が登場した事などが紹介され、この免疫治療薬は驚くほど高価な薬剤であり、効果に見合った費用の検討が今後重要な課題になるであろうと報告された。

なお、石岡教授は、教育・研究・臨床だけでなく東北地方のがん医療水準の向上のため臨床試験の推進、がん医療従事者の養成、市民啓発等の活動を展開されている。



薬学部の学外研修

薬学部1年生の希望者35名が7月10日(金)～12日(日)、7月18日(土)～20日(月)の2回に分けて、磐梯熱海の厚生施設「無垢苑」での研修(勉強合宿)に参加した。定期試験を前に、物理、化学、生物、数学などの苦手分野を克服するよう授業を担当している教員と寝食を共にし、疑問点などすぐに質問できる環境で積極的に勉強を進めていた。中には、お寺に移動して座禅を組んだ学生もあり、精神的にも一歩成長した姿が見られた。



薬物乱用防止キャンペーン

7月6日(月)、郡山市内のショッピングセンター「ザ・モール郡山」において、〈薬物乱用防止キャンペーン〉が行われ、本学薬学部1年生全員が参加した。厚生労働省、福島県及び公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センターが主催した同キャンペーンにおいて、市民の方々にパンフレットや風船などを配布し、麻薬、覚せい剤、危険ドラッグにかかわらないよう呼びかけた。



薬学部6年生特別実習発表会

7月30日(木)、講義棟において薬学部6年生による特別実習発表会が開催された。81名が、4年生の時から真摯に取り組んできた研究成果を口頭発表した。教員や学生(4、5年生も含む)から多くの質問があり、自らの研究から得た知識を駆使して活発な議論が行われた。

薬学部の学生は薬剤師国家試験に合格することが最終目標となるが、特別実習は研究マインドを持つ薬剤師の一部となり、これからの様々な問題に目を向け解決策を考えていく時に役立つことと思われる。

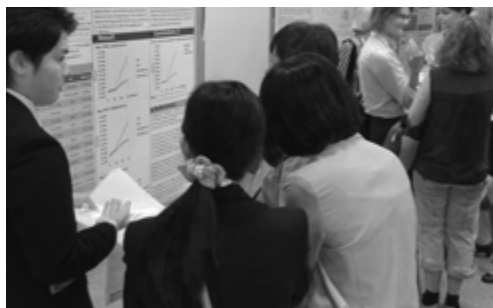


欧州静脈経腸栄養学会議

9月5日(土)から8日(火)にポルトガル・リスボン市で開催された第37回欧州静脈経腸栄養学会議(37th The European Society for Clinical Nutrition and Metabolism: ESPEN)に特別実習の研究成果を携えて参加し、薬学部5年生の松崎哲也君が発表しました。

ESPENは、ヨーロッパにおける臨床栄養・代謝学会であり、世界中の栄養サポート従事者が参加し、ASPEN(米国)やJSPEN(日本)との交流も盛んに行っています。栄養学において最先端の学会ですが、本学薬学部で行った仕事が採択されたことは誠に光栄であります。演題名は和訳すると「ピオチンは、脂肪乳剤を含まない末梢静脈栄養輸液中でカンジダ菌の増殖を促す」であり、学会では活発な議論に加え、貴重な助言をいただきました。

リスボンは将に歴史のある都市でした。街の西方ベレン地区は多くの偉大なポルトガルの探検家が発見の旅に出た場所として有名で、特にヴァスコ・ダ・ガマは1497年にインドへ向けここから旅立ったことで知られています。その気概と勇気に深く感銘を受けました(文責:早坂正孝)。



薬学部短期集中英会話コース

9月8日(火)から9月11日(金)まで、福島県岩瀬郡天栄村のプリティッシュヒルズにおいて「英会話短期集中コース」が実施され、薬学部2年生22名が英会話や英国文化を学ぶクラスを受講した。授業は外国人講師が英語で行った。教室外でのやり取りもすべて英語という国内では他所に類のない環境の中、受講生たちは積極的に学習に取り組み、多くの経験と成果を得ることができた。今後の英語学習の動機付けとしても有意義な研修となった。



薬学部就職先一覧(平成27年3月卒)

【病院】

秋田大学附属病院、あづま脳神経外科病院、栗原中央病院、公立志津川病院、公立藤田病院、国立がんセンター、国立病院機構北海道東北、高根病院、竹田綜合病院、筑波記念病院、福島県厚生農業協同組合連合会、星綜合病院、総合南東北病院

【薬局】

(株)アイセイ薬局、アポロメディカルホールディングス(株)、(株)アミック、(株)オオノ、(株)ファーマみらい、薬日本堂(株)、(有)シーガル、日本調剤(株)、(株)パワーファーマシー、(株)阪神調剤薬局、(株)ピノキオ薬局、(株)ファーコス、ファーマライズホールディングス(株)、(株)福島医療サービス、(有)フジ薬局、(有)みさき調剤薬局、(株)ミッテル調剤薬局、(有)みはる調剤薬局

【ドラッグストア】

イオンリテール(株)、(株)クリエイトSD、(株)スギ薬局、(株)丸大サクラヤ薬局

【教育・研究機関】

奥羽大学

研究倫理・研究不正防止に関する大学院特別研修セミナー

4月1日(水)から、文部科学省の「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」が適用されている。これに伴って、研究不正防止に対する取り組みが全国の教育研究機関で求められている。

本学においてもこの取り組みの一環として、本年度は研究倫理・研究不正防止に関する大学院特別研修セミナーを3回開催した。セミナーを通じて参加者は、研究不正の定義、それが社会に及ぼす影響、さらに不正防止の取組みについて知ることができた。



開催日	時間	会場	講師	題名
第1回 6月5日(金)	午後5時40分～	第2講義棟 第1講義室	筑波大学 岡林浩嗣 講師	研究倫理を正しく理解するために —リスク管理としての研究倫理—
第2回 6月16日(火)			信州大学 市川家國 特任教授	外国の失敗に学ぶ研究者倫理教育 全ての研究者にグローバル・スタンダードを
第3回 7月31日(金)			大阪大学 中村征樹 准教授	研究不正の防止と信頼される研究活動

海外教員による大学院特別研修セミナー

米国フォーサイス研究所免疫・感染症部門の佐々木元博士による大学院特別研修セミナーが、7月10日(金)午後5時40分から附属病院棟5階臨床講義室で開催された。「根尖性歯周炎の免疫学的研究」というテーマで、根尖性歯周炎の発症メカニズムを免疫学の研究手法を用いて解明した内容であった。大学院生と教員39名が参加し、講演後には活発な意見交換が行われた。



大学院研究経過発表会

平成27年度大学院歯学研究科研究経過発表会が、8月27日(木)午後1時から附属病院棟5階臨床講義室で開催された。この発表会は学位研究の質的向上を図るため、大学院生が学位申請の前年度にそれまでの研究成果を大学院教員に対して、発表するものである。本年度は、4名の大学院生が発表を行った。大学院教員からは研究内容を高めるための助言があったほか、論文としてまとめる際の注意点などが指導された。



平成27年度若手研究奨励賞受賞者

若手研究奨励賞は、若手教員の研究力向上とリサーチマインドの涵養を目指して平成25年度に制定され、今年で3年目となる。今年度からは、若手研究者と研究指導責任者の2名からなる研究チームで応募することになった。1次選考会、さらに2次選考会での審議を経て、以下の3名が受賞者に選ばれ、8月10日(月)に授与式が行われた。

学部	受賞者	指導責任者
歯学部	北條健太郎 臨床助手	玉井利代子 准教授
薬学部	中楯 奨 助教	山本正雅 教授
	金原 淳 助教	山岸文洋 准教授



(左から2人目より)北條臨床助手、中楯助教、金原助教

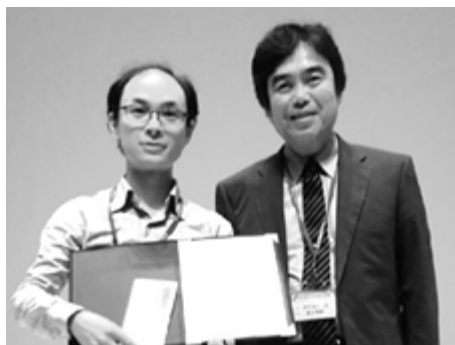
薬学部の熊本隆之助教、日本毒性学会で優秀研究発表賞受賞

6月29日(月)～7月1日(水)に金沢市で行われました第42回日本毒性学会学術年会で、優秀研究発表賞を受賞しましたのでご報告いたします。

日本毒性学会(日本トキシコロジー学会)は薬学、医学、獣医学、農学など大学や研究機関に加え、医薬品・化学品産業の研究部門や安全性担当者、医薬品医療機器総合機構(PMDA)など行政担当者が会する横断的で大規模な総合学会であり、優秀研究発表賞は優れた研究成果を明確に示し今後の発展も期待される研究に授与されるものです。

演題は本学薬学部の押尾茂教授との研究で「ベンゾ[a]ピレン胎仔期曝露が脳神経系に及ぼす影響のX染色体不活性化を指標とした解析」。もう少し詳しく触れますと、これまで分子生物学分野で扱われていたX染色体不活性化機構について、「一種類の遺伝子が千数百種の遺伝子の働きを制御する」「その遺伝子には脳神経回路の形成に作用して自閉症発症にかかわるなど、生命現象や疾病発症に深くつながるものが数多くある」という特徴から、実は医薬品や化学物質の有害事象の機序となるのでは、そして、これをバイオマーカー(生物指標)として利用すれば疾病予防と医薬品・化学品の安全性向上につながるのではないかという考えのもと、その作用から関連性が推測された化学物質の実験から考察を深めたものです。

なお、一連の研究のまとめについては10月に、東北大学で開かれる薬学会若手研究者セミナーに招待され講演する予定です(文責:熊本隆之)。



熊本隆之助教(左)

花岡洋一教授に警視庁より感謝状

7月3日(金)、歯学部生体構造学講座法歯学分野の花岡洋一教授に、警視庁多摩中央警察署より感謝状が贈呈された。昨年12月8日に多摩中央警察署管内で発生したコンビニ強盗事件の鑑定により、犯人の早期逮捕と起訴に貢献したとして、贈られたもの。



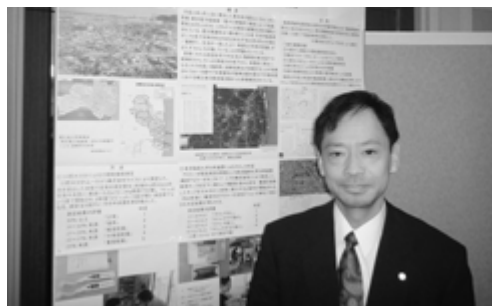
花岡洋一教授(左)

警察歯科医会全国大会

8月29日(土)、宮城県 ホテルメトロポリタン仙台で開催された第14回警察歯科医会全国大会に歯学部板橋講師が出席した。本会は日本歯科医師会が主催し警察庁や開催地都道府県他の後援で毎年開催されている。本学は東日本大震災の年に盛岡市で開かれた第10回大会から参加し、福島県歯科医師会と共同でポスター発表している。

今大会は『警察歯科医のための災害シミュレーション ～想定外の状況にどう向き合うのか～』をテーマに、特別講演、シンポジウム、ポスターセッション23演題の発表があった。

夕方からは懇親会があり、オープニングで津波の被害から立ち上がった女川『轟会』の太鼓が披露された。



板橋 仁講師

交通安全講習会

6月18日(木)記念講堂において、平成27年度交通安全講習会が実施された。

今年から新しく施行された自転車に関する法令について、第一線の現場に携わる郡山北警察署交通課第一係長である相良昭博氏の講話を伺った。自転車事故防止の啓発DVDを見て復習する形で傾聴した。受講者は日頃簡単に考えている自転車に対して、車両であるとの認識を新たにした。

事務局SD研修会

第3回事務局SD研修会が8月20日(木)に開催された。今回は、「知っておきたい科研費事務と公的研究費の取扱い」と題し、科研費担当の学事部三浦孝英課長が講師となっており、科研費に係る事務の流れと、本年4月に改正された公的研究費の取扱いに係る本学の規程について、分かりやすく解説された。公的研究費の取扱いに関する事項は全教職員必須の知識であることに加え、今年度の科研費事務が本格化する時期でもあり、今回のテーマは事務職員の理解を深めるのに良い機会になった。

自著を語る

「考えるエンドドンティクス ―根管形成と根管充填の暗黙知と形式知」

高橋慶壮著 クインテッセンス出版 2015

現代歯内療法学がスタートして半世紀が過ぎても、日本の歯内療法のレベルは高くない。旧態依然とした卒前教育に加えて、適切な卒後教育の場が乏しいからであろう。本書では、根管本来の形態を保持した根管形成を実践するための理論と実践方法を詳細に解説した。根管形成法および根管充填の技術的な部分における個人的な経験知あるいはコツ、すなわち歯内療法における「暗黙知」を書籍という「形式知」に変換することを試みた。これまで、本書の内容に基づいて指導した研修医や若手歯科医師において確かな成果を上げている。歯内療法のレベルアップに是非活用して欲しい。

(歯学部 歯科保存学講座 歯周病学分野 教授 高橋慶壮)



歯学部研究紹介

アメロジェニン遺伝子の生体組織に対する働きへの検討

歯科保存学講座 准教授 山田嘉重

エナメル質を構成するタンパク質の中でアメロジェニンはエナメル質形成過程において形、大きさ、基質の結晶化の成長方向を調整している。長らくアメロジェニンはエナメル芽細胞内からのみ発現し、エナメル質形成以外の働きはないものと考えられていたが、近年アメロジェニン遺伝子が歯以外の組織に発現し、エナメル質形成以外の働きを示唆する報告が幾つかなされるようになった。しかし特定の組織における局在や働きについての報告は十分ではない。そこで過去にアメロジェニン遺伝子が存在する可能性を示唆された臓器を含む様々な臓器においてアメロジェニン遺伝子発現の有無を精査した。まずは幾つかのサイズのアメロジェニンプライマーを作製し、最もPCRで良好な結果を得られたプライマーセットにて実験を開始した。生後8週齢のマウスの脳、心臓、肺、肝臓、胃、腎臓、脾臓、脾臓、小腸、大腸、筋、皮膚、精巣、卵巣、子宮、胎盤の16種類の各臓器から1st strand cDNAを作製しPCRを施行した。

その結果、発現量には若干の差が生じていたものの、胃と脾臓を除く14種類の組織にアメロジェニンの遺伝子発現が確認され、過去に報告されている組織以外の多くの組織でアメロジェニン遺伝子が存在している可能性が示唆された。また、これら各組織における局在を組織切片上で確認するため、胎生10.5日齢、14.5日齢のマウスを使用し in situ hybridization 法を施行し検討した。また、本研究では従来報告されているエクソン1-7の長さの遺伝子に対応したプローブと、近年新たに提唱されているエクソン1-9までの長さの遺伝子に対するプローブとを2種類作製し、in situ hybridization 法に使用した。

結果として、胎生10.5日齢では殆どの組織に遺伝子発現は見られなかったが、14.5日齢では多くの組織に遺伝子発現が確認され、発現パターンは先のPCRの結果に類似していた。これらの結果より、アメロジェニン遺伝子やタンパク質は初期器官形成ではなく、その後の臓器の機能維持等に何らかの関与を有するものと考えれる。また、エクソン1-7までのプローブで得られた結果と、エクソン1-9までのプローブでの結果には明確な違いは認められなかったが、幾つかの組織において遺伝子発現パターンが異なっていたことから、新たに指摘されたエクソン8、9はアメロジェニン自身の働きに何らかの影響を与えているものと推測される。

本研究は日本学術振興会科学研究費補助金（平成18年～25年基盤（C））により行った。

胎生期におけるアメロジェニンの発現推移		
	胎生10.5日齢	胎生14.5日齢
脳	±	++
心臓	-	+
肝臓	-	-
肺	±	±
腎臓	-	+
脾臓	++	++
腸管	++	++
神経節	+	+
骨組織	-	+

薬学部研究紹介**フラボノイドの作用機構の網羅的解析**

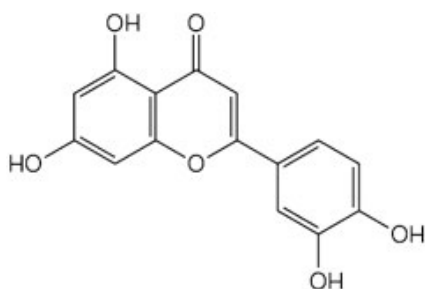
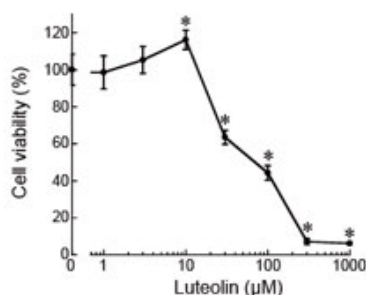
生物・衛生化学分野 助教 佐藤安訓

フラボノイドはポリフェノール類の一種で、緑黄色野菜を中心とした植物に多く含まれる有機化合物の総称である。植物において、訪花動物の誘因、紫外線防御、抗菌作用など有益な作用を有することが知られている。近年では、抗酸化作用、抗炎症作用、抗がん作用、生活習慣病に対する疾病予防効果など、我々の健康を延伸させる作用が多数報告され、そのメカニズム解明のために数多くの研究が行われている。

我々の研究室ではフラボノイドの一つであるルテオリンに着目し、ルテオリンがヒト乳がん細胞にどのような影響を与えるか検討した。その結果、高濃度では乳がん細胞の細胞死を引き起すが、低濃度では反対に乳がん細胞の増殖を促し、抗がん剤の作用を弱めることを明らかにした¹⁾。この抗がん剤の作用を弱める働きは、他のフラボノイドでも確認できたことから、ある程度フラボノイドに共通した作用であると考えている。フラボノイドは多彩な生理作用を持つため、作用機構の全貌を明らかにすれば新たな生理作用の発見、機能性食品や医薬品への開発応用などが期待できる。現在、リン酸化アレイを用いた細胞内リン酸化の網羅的解析やフラボノイドの直接の作用部位の同定などを遂行中である。

これら一連の研究は本学若手奨励研究の助成のもとに行われている。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

1) Sato Y et al. Biol Pharm Bull, 38, 703-709, 2015.

**ルテオリンの構造式****フラボノイド添加時の
細胞生存率変化****歯学部5年生 東健一郎君がSCRPで入賞**

8月21日(金)に東京都の歯科医師会館において、日本歯科医師会主催のスチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム (SCRP) 日本代表選抜大会が開催され、全国の歯学部から選ばれた学生が、日本代表を目指して英語による研究発表を行った。

本学から歯学部5年生の東健一郎君が発表を行い、入賞することができた。研究テーマは「虚血再灌流により発生した活性酸素は咬筋に障害を引き起こす」で、渡邊弘樹教授が指導を担当した。

附属病院

開業歯科医が研修歯科医に講義

4月23日(木)、臨床研修初期プログラムとして、臨床研修施設の施設長による講義が行われた。臨床の最前線に立つ開業歯科医による講義は、歯科医学の臨床哲学、歯科医師としての心構え、地域医療への積極的参加などをテーマにしたもので、大変有意義な内容であった。

宝沢伊藤歯科医院(郡山市)院長 伊藤 克紀氏

「Clinical philosophy of dentistry」

島本歯科診療室(東京都)院長 島本 英治氏

「歯科医師としての在り方」

白河歯科クリニック(白河市)院長 渡辺 友彦氏

「地域における歯科医師の役割」



講義中の島本英治氏

感染防止対策連携機関合同カンファレンス

6月15日(月)、歯学部附属病院が今年度から連携する寿泉堂総合病院において、平成27年度第1回感染防止対策連携医療機関合同カンファレンスが開催された。本院と同じく感染防止対策加算2届出医療機関である寿泉堂香久山病院とともに『院内ラウンド・ICT活動』および『各施設の感染対策上の問題点と対応』について、現状報告と今後の課題等を話し合った。カンファレンスは年4回の開催が決まっており、今後『耐性菌検出状況』や『職業感染対策』等について意見交換をして行く予定である。

第1回研修歯科医派遣式

7月3日(金)、第1回研修歯科医派遣式が行われた。

地域医療研修プログラムを選択した8名の研修歯科医は、全国各地の協力型臨床研修施設でそれぞれ4ヵ月と8ヵ月間の研修を行う。

派遣先は次の通り。

かさはら歯科医院(宮城県仙台市)、南館歯科医院(宮城県岩沼市)、末永歯科医院(福島県福島市)、にへい訪問歯科クリニック(福島県郡山市)、西部歯科クリニック(福島県郡山市)、会津中央病院(福島県会津若松市)、むらかみ歯科医院(栃木県宇都宮市)、森脇歯科医院(鳥取県境港市)



臨床教育力養成研修会

本年度の臨床教育力養成ワークショップは7月18日(土)、歯学部教員18名の参加により行われた。ディレクターの杉田病院長、山森教授とチーフタスクフォースの清野准教授の主導のもと、ワールドカフェにより「本学の臨床実習に大切なことは」をテーマにダイアログで良好な交流を行った。その後臨床実習に特化したカリキュラムプランニングのプロダクトを作成、発表するなど有意義な研修であった。



最新エックス線CT診断装置を導入

放射線科にエックス線CT診断装置「Acquilion lightning (アクイリオン ライトニング、以下アクイリオンと略す)」が導入(更新)された。アクイリオンは16個のエックス線検出器を持つ多列検出器CTで、短時間撮影が可能だ。また画像処理用のコンピュータも性能が向上したため、多断面画像再構成(希望する断面の画像を作り直すこと)、デンタルCT(歯列に直角もしくは平行な断面像を作り直すこと)に代表される再構成画像作成の要望に対応できるようになった。

放射線科では、よりよい画像提供およびより少ない被曝線量でのエックス線検査の実現に向けて引き続き取り組んでいる。



薬草園の花



オオバギボウシ

スポーツ
学友会

サッカー部の紹介

今年の8月7日(金)～11日(火)、第47回全日本歯科学学生総合体育大会サッカー部門を私たち奥羽大学サッカー部が主管校として開催しました。奥羽大学サッカー部は新潟大学と対戦し、2-3で初戦敗退。結果は残念でしたが、部門主管を部員全員で最後までやり遂げた時の達成感は言葉では言い表せないもので、チームとして強い団結力が生まれ、成長していくのを感じることができました。

その他の最近の活動としては、仙台への遠征試合や郡山市内のグラウンドで東北圏内大学(東北大・岩手医科大)の合同練習など、様々な活動を活発に行っています。

また、今年は新たに10名がサッカー部に入部し、

全部員で30名を超える奥羽大学でも有数の大きな運動部となりました。卒業された多くの先輩方がつくってきた奥羽大学サッカー部の歴史を途切れさせることなく、さらに発展させていける様これからも努力していきたいと思っておりますので、応援をよろしくお願い致します。



同窓会だより

青木 秀志(北海道支部長 歯学部3期生)

皆様お元気で活躍されてるでしょうか。年に一度、評議員会で何うときも、磐越西線横の仮設住宅の規模が少しずつ小さくなっていくことを願って眺めています。

さて、私ども北海道同窓会では、ここ30年近くほとんど同じ顔ぶれで運営しています。それはどこの同窓会でも同じ傾向で、地元の北大と北海道医療大の卒業生だけが爆発的に増え続けている現状で、それに伴い歯科医師会への未入会者も増えています。

そんな中、今回の役員改正でもしぶとく役員・委員に名を連ね会員のニーズに応じていますが、なかなか後を継いでくれる人材が育ちません。

北海道と東北6県は日本歯科医師会では同一ブロックとしてみなされてから7年目になります。岩手から始まり、昨年青森で開催された東北・北海道役員連絡協議会が今年は札幌で10月3日(土)に開催されます。また、今年愛媛県で開催される第65回全国学校保健研究大会は来年10月20日(火)・21日(水)に札幌で開催されることが決定しています。こういう会合に出る楽しみは(主催者側は大変ですが)やはり同窓の先輩後輩との旧交を深められることに尽きます。食料の自給率が200%の北海道では秋には新鮮な野菜や食肉・魚介類に加え米や蕎麦・小麦もおいしいですよ。公務で来られるのもいいですが、プライベートで来られるときも気軽に声を掛けてください。最近では同年代の方々がリタイヤして夏だけ北海道に移住するなんて方も増えています。

同窓生のひろば



長嶋 敬夫(歯学部4期生)

同窓生の皆さん、こんにちは。
昭和56年卒の長嶋です。

59年に地元、大田原市(栃木県)に開業して32年になります。あらためて、長い間地域医療に関

わり、そしてかかりつけ医の受け皿として自分の持てる力を患者さんに少しでも還元し、日々の診療を努め続けてこられたことに対して、家族、スタッフ達に感謝したいと思います。

我が地元は、北関東、県北の小さい市ですが、皇族の別荘、那須の御用邸や那須高原温泉があり、自然災害が比較的少なく豊かな自然と美しい四季を日や肌、舌で感じられる所です。大田原市は与一の里(那須与一、平家壇ノ浦の戦いで名をはせたふる里)で色々なイベントがあります。ゆるキャラグランプリで与一君は全国6位でした(さのまる君が1位)。

また大田原マラソンはレベルの高い大会で、市民ランナーから高い評価を頂いてます。意外や居酒屋、ラーメン屋、パチンコ店??も多いんです。ゴルフ場は自宅から30分程度で十数か所行けます。以上、ご当地紹介でした。県北には、まだまだ沢山ありますので探索して見て下さい。

ここで同窓会、栃木県支部についてお話をさせて頂きます。

昭和62年2月に東北歯科大学同窓会栃木県支部を前支部長菊地均先生下において県歯会長、郡歯会長及び他大学同窓会長等々沢山の方々にご臨席頂き、盛大に発会式を行いました。早いもので30年の時が経ち、来年2016年(H28年)に、奥羽大学歯学部同窓会栃木県支部30周年記念式典を行うことになりました。

同窓会とは、同窓生会員の全てが同じライセンス(歯科医師免許)を持ち同じフィールドで活動し、同じ道を歩み、悩みも喜びも共にする者として極めて親密な付き合いが生涯続くことになります。同窓会に参加することは、人と人との繋がりを根幹として諸先輩によって築かれた伝統や歴史を共有し、次の世代に繋げることが大切な会だと思っております。

ぜひとも、2016年(H28年)の栃木県支部30周年記念式典を成功させる為、1期生の先輩から多くの若い同窓生の先生方のご支援、ご協力が必要です。田部井清美支部長以下、役員、実行委員会一同、一生懸命頑張ってやって参りますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

鈴木 久美子 (旧姓：奥山)

(文学部日本語日本文学科13期生)

この度、友人経由で奥羽大学報の原稿依頼を頂いたときは大変驚きました。数多くの卒業生の中で「なぜ私なのだろう?」というただただ驚く思いでしたが、今はこのような機会をいただけたことに感謝いたします。ありがとうございます。

大学進学のため18歳で郷土山形を離れ、単身福島で生活することは希望と不安が入り混じった半分半分の状態でした。しかし、希望ある日常をあたえてくださり、不安を拭い去ってくれたのは同級生や諸先輩方、諸教授方でした。また、温かい地域の方々のおかげで大学生活を乗り越えられました。今、この場を借りしてお礼を述べたいと思います。

奥羽大学での4年間は私にとってかけがえのない4年間でした。始めの1年は、大学の「講義」というものに慣れるのに必死でした。その中で級友との絆を深め、サークル活動に参加し先輩方と交流を深めていったり、アルバイト先で地域の方と交流をしたりと「一歩踏み出せば、新たな経験ができる」ことを学びました。その経験から、人生初の海外へ行くことを大学での「中国語研修」という形で成し得ることができました。4年間、楽しいこと苦しいこと悲しいこと全て含めて奥羽大学での学生生活は良い学びになりました。

大学卒業後は、自動車学校のインストラクターや小学校で司書補を務めて参りました。念願だった「図書室の先生」になり、周りの先生方の協力と理解もあり図書室の改造など大がかりなこともさせていただきました。また、他の小学校の司書補とも交流をするなどして情報交換を行い、より良い本を選定し児童たちに読んでもらおうと研修も行っていました。そんな小学校での司書補を5年間勤めあげた後、郷土の山形に帰郷しました。久々の雪国での生活は大変ではありましたが、新たな人々に出会い、新たな発見もあり日々励まされています。今は、文学部を卒業した私がおかげで歯科医院の受付として勤めています。そこでも大学で学んだ「一歩踏み出せば、新たな経験ができる」を胸に日々精進しているところです。

最後になりましたが、この原稿を書きながら卒業して10年が経つのだと実感しました。その年月では様々なことが起こり、様々な経験を積んできていることに改めて気付かされました。これから先も大学で学んだことは活かされていくと思います。末筆ながら卒業生として母校のさらなる発展と皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

図書館で展示「近代歯科学の黎明」

7月17日(金)から8月31日(月)まで、図書館1階閲覧室で「近代歯科学の黎明」と題して本学所蔵の稀観図書を展示した。

展示内容は、近代歯科医学の父フォシャールの著書(1728年刊の復刻版)やその翻訳本、『ターヘルアナトミア』(1734年刊の復刻版)、田口和美著『解剖攬要』13冊(1877年刊)、『シーボルト旧蔵日本植物図譜コレクション』大型本2冊(写真製版)、“Guide to Sound Teeth, or A Popular Treatise on the Teeth” by S. Spooner(1836年刊)など50冊。また、全国の歯学系大学史(誌)67冊も同時に紹介した。

普段は貴重図書保管庫で保存している歯学関係の図書を直に触れて見る良い機会となった。



学校法人晴川学舎 平成26年度決算報告

1. 資金収支計算書

(単位:円)

科 目		予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金収入	2,116,560,000	2,002,199,200	114,360,800
	補助金収入	256,306,000	285,581,000	△ 29,275,000
	その他の収入	920,783,000	1,524,265,416	△ 603,482,416
	前年度繰越支払資金	1,711,623,188	948,534,775	763,088,413
	収入の部合計	5,005,272,188	4,760,580,391	244,691,797
支出の部	人件費支出	2,249,826,000	2,103,090,386	146,735,614
	教育研究経費支出	836,448,000	777,930,177	58,517,823
	その他の支出	747,578,000	556,872,785	190,705,215
	次年度繰越支払資金	1,171,420,188	1,322,687,043	△ 151,266,855
	支出の部合計	5,005,272,188	4,760,580,391	244,691,797

2. 消費収支計算書

(単位:円)

科 目		予 算	決 算	差 異
収入の部	学生生徒等納付金	2,116,560,000	2,002,199,200	114,360,800
	補助金	256,306,000	285,581,000	△ 29,275,000
	その他の収入	816,179,000	819,382,145	△ 3,203,145
	帰属収入合計	3,189,045,000	3,107,162,345	81,882,655
	消費収入の部合計	3,189,045,000	3,107,162,345	81,882,655
支出の部	人件費	2,253,311,000	2,094,817,636	158,493,364
	教育研究経費	1,448,380,000	1,355,207,762	93,172,238
	その他の支出	440,015,000	334,653,470	105,361,530
	消費支出の部合計	4,141,706,000	3,784,678,868	357,027,132
	当年度消費支出(収入)超過額	△ 952,661,000	△ 677,516,523	—

3. 貸借対照表

(単位:円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
資産の部	固定資産	32,718,396,848	35,763,135,025	△ 3,044,738,177
	有形固定資産	10,989,128,740	11,529,516,407	△ 540,387,667
	土地	1,687,228,194	1,687,228,194	0
	建物	5,937,721,955	6,243,047,784	△ 305,325,829
	教育研究用備品・図書他	3,364,178,591	3,599,240,429	△ 235,061,838
	その他の固定資産	21,729,268,108	24,233,618,618	△ 2,504,350,510
	減価償却引当特定資産他	21,729,268,108	24,233,618,618	△ 2,504,350,510
	流動資産	4,135,409,893	1,783,738,343	2,351,671,550
	現金預金	1,322,687,043	948,534,775	374,152,268
	未収入金他	2,812,722,850	835,203,568	1,977,519,282
	資産の部合計	36,853,806,741	37,546,873,368	△ 693,066,627
負債の部	固定負債	1,148,830,162	1,171,900,004	△ 23,069,842
	退職給与引当金	1,113,614,496	1,121,887,246	△ 8,272,750
	長期未払金	35,215,666	50,012,758	△ 14,797,092
	流動負債	530,039,838	522,520,100	7,519,738
	未払金	112,078,508	151,634,802	△ 39,556,294
	前受金他	417,961,330	370,885,298	47,076,032
	負債の部合計	1,678,870,000	1,694,420,104	△ 15,550,104
基本金の部合計		31,521,489,476	32,002,357,229	△ 480,867,753
消費収支差額の部合計		3,653,447,265	3,850,096,035	△ 196,648,770
負債の部、基本金の部、及び消費収支差額の部合計		36,853,806,741	37,546,873,368	△ 693,066,627

退職によせて



歯学部
口腔機能分子生物学講座
教授 馬場 麻人
平成25年4月1日付で赴任
以来短い期間でしたが、9月
30日をもちまして、一身上の都合

により退職することとなりました。この間、歯学部の第一学年の学生に生物学(特に細胞生物学)を教え、また生物学実験を担当してきました。

私が赴任した時は、東日本大震災から2年後ということもあり、歯学部1年生は、20名台と少なくなっておりましたが、今年度からは定員30名の特待生制度を始めたこともあり、現在は28名の特待生を含む64名が在籍しております。また今年からは初めて薬学部と合同のカリキュラムも生まれ、入学直後にはフレッシュマンキャンプ等の学外研修やガイダンスが行われ、その他にも合同で特別講演を聴いたり、研修を受けたりする機会を設けております。

このように短い間でしたが、在職期間の間に学生も増え、新しいカリキュラムが動くなど、非常に刺激的で、得難い経験が出来ました。もちろんこれらにおいて、無事に職務を遂行できたのは、多くの先生方、事務の皆さまのご支援のおかげであり、感謝の気持ちで一杯です。加えて語れば、今年の夏はオールデンタルのバスケットボール部門の主管校は奥羽大学であり、顧問として大会会長を務め、6日間にわたり部員たちと文字通り汗を流して、会津若松において大会運営を行ったのも良い思い出となりました。

最後になりましたが、本学の更なるご発展を祈念致します。本当にありがとうございました。

人 事

<昇格>		新	旧	
角 田	貞 伴	課 長	技 術 係 長	7月1日付
		総 務 部	総 務 部	
古 川	幸 治	課長(補佐相当職)	備品管理係長	〃
		総 務 部	総 務 部	
<採用>				
鈴 木	雄 太	事 務 職 員	歯学部学事部	8月1日付
<再雇用>				
大 河 原	四 郎	技 術 職 員	総 務 部	7月7日付
<定年>				
大 河 原	四 郎	課 長	総 務 部	7月6日付
<退職>				
小 林	東 助	手 臨	床	6月10日付
小 野	礼 子	主任電話交換手	総 務 部	7月31日付
西 村	翼	助 教	歯科保存学	8月10日付
柳 沼	み 子	看 護 師	病院医療部	8月31日付
濱 上	隼 一	助 手	臨 床	9月15日付
馬 場	麻 人	教 授	口腔機能分子生物学	9月30日付

葉草園の花



ガマノホ

奥羽大学報147号(通算No.272)平成27年9月30日発行
発 行 奥 羽 大 学
学 報 編 集 委 員 会
委 員 長 赤 川 安 正

☎963-8611 福島県郡山市富田町字三角堂31番1
電話 024 (932) 8931(代) FAX 024 (933) 7372
ホームページアドレス <http://www.ohu-u.ac.jp>
メー ル ア ド レ ス info@ohu-u.ac.jp

※「奥羽大学報」送付先変更の方は、FAXまたはメールでご一報をお願いします。

平成28年度入学試験日程

入試区分			募集 人員	日 程				試験 会場
				出願期間	試験科目	試験日	合格者発表	
薬 学 部	推薦	一期	10名	H27.10.26(月)～H27.11.6(金)	・小論文・面接	H27.11. 8(日)	H27.11.10(火)	本学
	一般選抜	一期	30名	H28. 1. 7(木)～H28. 1.21(木)	・必須 コミュニケーション英語(I・II) ・選択 「数学(I・II・A)」 「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 の4科目のうち1科目を試験会場で選択	H28. 1.24(日)	H28. 1.27(水)	本学 仙台 東京 大阪
		二期	10名	H28. 2. 1(月)～H28. 2.16(火)	・必須 面接	H28. 2.18(木)	H28. 2.20(土)	
		三期	6名	H28. 2.29(月)～H28. 3.12(土)	※英語、数学及び理科は各科目とも旧課程との共通部分から出題する	H28. 3.15(火)	H28. 3.17(木)	
		二期	5名	H28. 2.29(月)～H28. 3.12(土)	・必須 個人面接 ※英語、数学及び理科は各科目とも旧課程との共通部分から出題する	H28. 3.15(火)	H28. 3.17(木)	
	特待生選抜	一期	25名	H28. 1.7(木)～H28. 1.21(木)	・必須 コミュニケーション英語(I・II) ・必須 数学(I・II・A) ・選択 理科「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 の3科目のうち1科目を試験会場で選択	H28. 1.24(日)	H28. 1.27(水)	本学
	AO	二期	5名	H28. 2.29(月)～H28. 3.12(土)	・必須 個人面接 ※英語、数学及び理科は各科目とも旧課程との共通部分から出題する	H28. 3.15(火)	H28. 3.17(木)	
		一期	5名	H27. 8.31(月)～H27. 9.11(金)	・面接 ※選考方法 出願書類および面接試験の結果を総合して判定する	H27. 9.13(日)	H27. 9.15(火)	本学
	同窓特別	一期	5名	H27. 8.31(月)～H27. 9.11(金)	・面接 ※選考方法 出願書類および面接試験の結果を総合して判定する	H27. 9.13(日)	H27. 9.15(火)	本学
薬 学 部	編入学	随時	若干名	願書受付後日程調整のうえ随時実施	<2年次編入> ・小論文 ・面接 <3～4年次編入> ・学力試験 ・面接	H27. 9. 1(火) ～ H28. 3.18(金)	試験実施後 3日以内	本学
	推薦	一期	30名	H27.10.26(月)～H27.11.6(金)	・面接 ※選考方法 出願書類および面接試験の結果を総合して判定する	H27.11. 8(日)	H27.11.10(火)	本学
	一般選抜	一期	45名	H28. 1.7(木)～H28. 1.21(木)	・選択 「コミュニケーション英語(I・II)」 「数学(I・II・A)」 の2科目のうち1科目を試験会場で選択	H28. 1.24(日)	H28. 1.27(水)	本学 仙台 東京
		二期	20名	H28. 2.1(月)～H28. 2.16(火)	・選択 理科「物理基礎・物理」 「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」 の3科目のうち1科目を試験会場で選択	H28. 2.18(木)	H28. 2.20(土)	
		三期	5名	H28. 2.29(月)～H28. 3.12(土)	・必須 面接 ※英語、数学及び理科は各科目とも旧課程の範囲との共通部分から出題する	H28. 3.15(火)	H28. 3.17(木)	
		二期	5名	H28. 2.29(月)～H28. 3.12(土)	・必須 個人面接 ※英語、数学及び理科は各科目とも旧課程との共通部分から出題する	H28. 3.14(月)	H28. 3.17(木)	
	特待生選抜	一期	25名	H28. 1. 7(木)～H28. 1.21(木)	・必須 コミュニケーション英語(I・II) ・必須 数学(I・II・A) ・必須 理科「化学基礎・化学」 ・選択 理科「物理基礎・物理」 「生物基礎・生物」 の2科目のうち1科目を試験会場で選択	H28. 1.23(土)	H28. 1.27(水)	本学
	AO	二期	5名	H28. 2.29(月)～H28. 3.12(土)	・必須 個人面接 ※英語、数学及び理科は各科目とも旧課程との共通部分から出題する	H28. 3.14(月)	H28. 3.17(木)	
		一期	10名	H27. 8.31(月)～H27. 9.11(金)	・面接 ※選考方法 出願書類および面接試験の結果を総合して判定する	H27. 9.13(日)	H27. 9.15(火)	本学
	編入学	随時	若干名	願書受付後日程調整のうえ随時実施	【2年次編入】 ・小論文 ・面接	H27. 9. 1(火) ～ H28. 3.18(金)	試験実施後 3日以内	本学